

公募の位置づけならびに申請後の流れ

Interstellar Initiative全体における公募の位置づけは次の通りです。

本公募はニューヨーク科学アカデミーと共同して世界で同時に公募を実施します。応募フォームに登録いただいた内容は主にInterstellar Initiativeの参加者採否決定とその後のチーム形成のために使用され、配賦される研究費を使用しての委託研究開発の内容と基本的に一致しませんのでご留意下さい。

公募

応募申請

日本国内の研究者と、海外の研究者で申請方法が異なります。また、チームとしての申請ではなく、各研究者による個人での申請となります。



登録された情報をもとに審査し、採否(当年度のInterstellar Initiativeに参加する研究者)を決定します。

応募者へ採否通知を送付します。

応募申請の情報や評価委員会での議論をもとに、採択された研究者を3名1組の国際的・学際的チームに編成。
※各チームに日本の研究機関に所属する研究者を1名ずつ含む

第1回ワークショップ開催(2022年9月12日-14日) 各チームがメンターの指導のもと、研究計画を作成。

医療分野(2022年度のテーマは「生体の複雑な機能解明のための基礎研究(Basic Research to elucidate the complex mechanisms of living organisms)」)でまだ解決されていない難課題に対し、チーム一丸となって学際的なアプローチで挑む研究計画を作成します。議論の結果、ご自身の応募申請内容がそのままチームとしての研究計画になるケースも想定されますが、他のメンバーの応募申請内容がチームの研究計画になるケースや、最も多く想定されるケースとして、各チームメンバーの申請内容とは全く異なる新しい内容がチームとしての研究計画になるケースも想定されます。そのため、応募申請内容と実際に委託研究開発費で実施する内容は基本的に異なるものになります。

第1回ワークショップでのチームディスカッションの結果をもとに委託研究開発関連書類(研究開発計画書、経費内訳書等)を日本国内に所属する研究者が作成し、AMEDに提出

AMEDが各チームの日本国内の研究者の所属機関と委託研究開発を締結。(契約関連書類が準備でき次第)

各チームに研究開発費を配賦、作成した研究計画の実現可能性等を検証する実験を実施(委託契約締結後、2021年度末まで)

第2回ワークショップ開催(2022年2月23日-24日)。検証実験の結果やこれまでのチームでの議論を踏まえ、メンターとの議論も交えて研究計画をさらに練り上げ。